

畜産技術協会の平成22年度「海外畜産技術調査・研修事業」への応募案内

当協会の海外調査・研修関連2事業に参加を希望される方は下記の要領で奮って応募下さい。

記

1. 調査（研修）課題応募締切：平成22年9月30日（木）午後5時
調査（研修）課題名、調査（研修）の必要性、調査（研修）先機関、調査（研修）時期、期待される効果等を記載した調査（研修）課題申請書（自由様式でA4版1枚程度）を海外技術交流部宛に提出。
2. 課題決定通知：平成22年10月8日（金）（メール or 郵送で通知）
3. 調査（研修）実施申請書の提出締切：平成22年11月5日（金）（申請書は協会提示様式）（課題採択者のみ）
4. 調査（研修）実施承認：平成22年11月12日（金）（11月22日以降調査（研修）は開始可能。）
5. 問合せ先：（社団法人）海外技術交流部（Tel）03-3836-2301、（Fax）03-3836-2302、
（E-mail）h-nishimura@jlta.jp

I. 海外畜産技術協力に関する短期海外研修事業

実施目的	我が国の海外技術協力に必要な畜産技術であるが、国内で欠如する技術、知見（例えば熱帯、乾燥地域の技術とか、アフリカ特有等）について、先進国の大学、研究機関、又は国際機関等に畜産技術者を派遣してそれらの収集・習得を図り、海外協力専門家のレベルアップ、我が国の技術協力の実施効果を高める。
応募資格	1. 当協会の登録専門家（事後登録可能）であり、今後海外技術協力事業で中核的技術者として活躍が期待でき、若手技術者の模範的な指導者となり得る人 2. 単独で渡航して、我が国の海外協力に必要な技術を研究所、大学等に滞在して習得できる語学力及び熱意のある人
派遣人数	1分野1名の2分野で、分野は応募者が希望し協会も認めるもの
派遣期間	派遣期間は2週間～1ヶ月程度で、平成23年2月末までに帰国
協会の支援	国内旅費、渡航費、滞在費、現地交通費、現地で研修受講費、現地通信運搬費、資料購入費、旅行雑費等（通訳費は対象外）
その他	帰国後速やかに研修報告書（A4で50頁程度）の提出と協会が開催する研修会に講師として出席（1回程度で、出席費用は協会負担）

II. 先進国からの畜産新技術の調査事業

実施目的	我が国の畜産の研究、畜産業の発展に有益と考えられる畜産新技術、知見等の導入を図るため、畜産専門家を大学、研究機関に派遣し、技術、知見の収集をする他、それらの普及事情、我が国への普及の可能性、必要な普及対策等について調査を行い、調査結果の広報を通じて我が国の畜産の発展に寄与する。
応募資格	1. 調査対象技術を専門分野としている畜産研究者または技術者等であり、十分な調査結果が期待できる人 2. 単独で渡航して研究所、大学等を訪問し、調査できる語学力及び熱意のある人
派遣人数	派遣する分野は2分野で、各分野とも原則1名で派遣し、分野は応募者が希望し協会も認めるもの
派遣期間	派遣期間は1～3週間程度で、平成23年2月末までに帰国
協会の支援	国内旅費、渡航費、滞在費、現地交通費、現地通信運搬費、資料購入費、出席する学会出席登録料、旅行雑費等（通訳費は対象外）
その他	帰国後速やかに研修報告書（A4で50頁程度）を提出